

大志を育む

平成30年3月14日



(教職員向け)
教育委員会だより
No. 21

発行：北広島市教育委員会

志行必達 ~ 小中一貫教育元年に向けて

教育部次長 佐藤 直己

いよいよ4月から、市内一斉に小中一貫教育が実施されます。この間、各中学校区においては、小中一貫教育推進会議を中心に教科系統表の作成、乗り入れ授業の計画・実施、小中合同の授業、教職員の合同研修、教育を語る会の開催等、学校長のリーダーシップのもと、きめ細かに準備を進めてきてくださっています。また、教育委員会としましても、今年度は教育委員会内に小中一貫教育課を新設し、各学校と連携を図り、一体となって小中一貫教育を推進してきました。

タイトルにある「志行必達」は、志したことは必ず達成するという強い気持ちをもって臨むことを意味しています。子どもたちのよりよい学びに向けて、私たち教育に携わる者が強い意志を持ち、力を結集して、新年度からの小中一貫教育の充実・発展のために励んでいきましょう。



小中一貫教育全国サミット in 京都

【平成30年度～31年度における市内統一的な主な取組】

■学校として

- 小中一貫教育推進教師の位置づけ
- 平成30年度進行管理表の作成
- 小中一貫教育推進組織の確立
- 児童生徒、保護者への説明（年度当初）
- 学校だより、学校HP等での情報発信
- 中学校区における「教育を語る会」の開催 など

■学びをつなぐ（学力・体力の向上）

- 平成30年度で5教科（国、社、算・数、理、外国語）の教科系統表、年間指導計画の作成
- 乗り入れ授業の計画的実施（複数回） など

■大志をつなぐ（キャリア教育）

- キャリア教育全体計画の検証
- キャリア教育年間指導計画の実践と検証
- 夢ノートの定着と活用、見直し・改善

■人と人をつなぐ

- 小中合同の活動
- 異学年交流
- 教職員による小中合同研修会の開催
- 地域と連携した取り組みの実施
- 土曜授業などを活用した地域への取組発信

■教育委員会として

- 転入者への研修会実施
- 小中一貫教育に係る周知・啓発（HP、パネル展）
- アンケート等の実施による検証、改善
- 小中一貫教育実施に係る条件整備（教科書、講師謝礼、旅費 等） など

西の里中学校区小中一貫教育の取り組み

最終回の今回は西の里中学校区の取り組みを紹介します。

小学生の部活動体験

7月27、28日の2日間、西の里中学校で小学生の部活動体験を行いました。27日はバスケットボール部と吹奏楽部に西の里小学校の児童が多数参加しました。

バスケットボール部は、体育館で基本的な技術を先生に教わりながら、ゲーム的な要素を取り入れた練習で、小学生と中学生と一緒に汗を流しました。中学生が小学生にパスの方法などをアドバイスする場面も見受けられました。

吹奏楽部は、各パート（楽器）の教室を小学生が回りながら、中学生に楽器の使い方や音の出し方を教わり、実際に楽器に触れて音を出していました。音が出た時の小学生の笑顔や中学生が小学生に教えるときの先輩らしい自信に満ちた姿が印象的でした。



バスケットボール部の部活動体験

小学校低学年向けキャリアノート

西の里小学校では、「きたひろ夢ノート」の低学年版である「さとしょうゆめノート」を独自に作成しました。これにより小学校低学年から自分の将来の夢や生き方について考える機会が増えることとなります。

さらに北広島西高校でも同じような取り組みを行い、小中高連携のキャリア教育を実践しています。市内全ての中学校区でも小中学校を見通したキャリア教育指導計画を作成しますが、西の里中学校区では小学校1年から高校3年までの指導の一貫性を図っています。



西の里小乗り入れ授業（英語）

昨年12月5日、西の里小学校6年生を対象に、西の里中学校の英語の先生が乗り入れ授業を行いました。

国名を英語で当てるクイズでウォーミングアップをしたあと、クイズで出題された国名を使って、英語で出身地を尋ねたり、伝えたりする練習をしました。

中学校の先生がALTの先生と連携し、会話の例を披露するなど、専科の先生だからこそ対応できる場面が見られました。児童たちには、数ヵ月後に迫る進学への実感を持つことができた様子でした。

